

大人のための情報モラル通信

チャットGPT(AI)との接し方について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

みなさんは「**チャットGPT**」をご存じでしょうか？これは米国企業※が開発したAIで、人間の質問に対して、対話の形で自然な回答を提供してくれるサービスです。

※OpenAI社

子どもの質問にも**なんでも**答えてくれます。宿題でもたいていの問題は一瞬で答えを教えてください。作文等も指定したテーマや文章形式、文字数で書いてくれます。

- ・桃太郎の感想文
 - ・400文字
 - ・小学校4年生風
- これで書いて！



- ・遅刻の反省文
 - ・400文字
 - ・高校2年生風
- これで書いて！



なお、高性能な「**チャットGPT**」が公開された翌月※、文部科学省は「学校で使う時の注意点や活用方法等について、ガイドラインを作成する」と発表しました。

※2023年4月

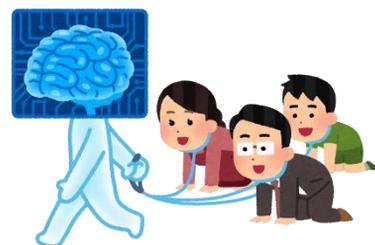
このように、子ども達が実際に**AIを使う**ことが現実味を帯びてきています。AIを使いこなせば、自分の知識や経験、思考等とは関係なく**“答え”**を導き出せます。

★「AI」を使いこなす能力が必要★

ほぼ全ての人間は、AIの持つ知識量・回答速度には敵いません。また、子どもが延々と「なぜ」と質問を繰り返しても、AIは途中で**“疲れて”** 答えるのを止めたりはしません。

ただ、今のAIは**間違っている**ことも自信満々に答えます。感情が無いので恥や遠慮という概念はありません。**“AIの答え”**を過信し過ぎると、**大失敗する恐れ**があります。

また、**質問の仕方**によって回答は大きく変わります。上手く聞けば、より適切な答えを教えてください。一方で、AIを使うこと自体が目的になってしまい、上手く使えずにいると、AIの答えに振り回されてしまうかも知れません。



今後も**AIが進化することほぼ確実**であり、AIの存在感がどんどん高まり、人間はその補佐役になるかもしれません。そのような環境では**「AIを導く質問力」****「自分の意見(アイデア)」**が重要になり、**「間違いを見抜く力」**もより求められることになりそうです。